

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行食道癌主病変に対する術前治療の臨床画像による効果判定
	研究目的	食道癌術前に行う食道造影を用いた主病変の評価が生存の surrogate end point となりうるか検討を行う。
	研究対象者	2011 年 1 月から 2015 年 12 月までに当科で NAC 後に切除を行った治療前診断 Stage2・3 の胸部食道癌症例を対象とする。
	研究期間	西暦 2018 年 8 月 17 日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし